

(1) 今までの経過について (概要)

年 月 日	内 容
<平成23年度>	
8月～H24年3月：市庁舎「本館・新館・東館」耐震診断実施 <荒井設計> ⇒3月8日付け耐震診断審査報告 …「本館、本館増築棟、議会棟、東館」：建替等の抜本的対策が必要。 …「新館」：耐震補強工事により耐震性は保たれ、使用可。	
<平成24年度>	
4月 1日	・庁舎整備担当配置（管財課内）
4月 23日	・二役協議（建設位置、庁舎規模、スケジュール等）
6月 8日	・二役協議（庁舎整備検討委員会等について）
7月 17日	・庁舎整備検討委員会要綱決定
8月 17日	・庁舎整備検討ワーキンググループ設置要綱決定
8月 24日	・庁舎整備検討ワーキンググループメンバー決定（16名）
9月 3日	・第1回ワーキンググループ会議（目的、耐震診断結果、現状と課題等）
9月 14日	・庁舎整備検討委員会委員決定（22名）
10月 15日	・ 第1回庁舎整備検討委員会 （本庁舎の概要、耐震診断結果、現状と課題等）
10月 30日	・第2回ワーキンググループ会議（庁舎に求められる機能等）
12月 21日	・第3回ワーキンググループ会議（庁舎に求められる機能等）
1月 22日	・ 第2回庁舎整備検討委員会 （庁舎に求められる機能等）
2月 25日	・第4回ワーキンググループ会議（庁舎に求められる機能、庁舎規模等）
3月 18日	・ 第3回庁舎整備検討委員会 （庁舎に求められる機能等）
<平成25年度>……………新体制：財務部 庁舎整備準備室設置	
4月 1日	・検討委員会及びワーキンググループ要綱、委員等の変更決定
4月 22日	・二役協議（経過、スケジュール、規模・位置等基本的な考え方等）
5月 1日	・第5回ワーキンググループ会議（庁舎規模、事業費、整備方法等）
5月 24日	・ 第4回庁舎整備検討委員会 （庁舎規模、事業費、整備方法等）
<p>※検討委員会（4回～7回）：庁舎整備規模、庁舎の事業規模、整備方法及び整備位置 （8回～9回）：庁舎整備基本構想（案）を検討する予定。</p>	

【「庁舎整備検討委員会の今後の進め方について」】

～【平成24年度】～

第1回庁舎整備検討委員会 (H24年10月15日)

- ・・・本庁舎及び東館の概要及び耐震診断結果について
- ・・・現庁舎の現状と課題及び構想策定スケジュールについて

第2回庁舎整備検討委員会 (H25年1月22日)

- (1) 庁舎に求められる機能
- ア 防災拠点としての機能
 - イ 来庁者の利便性を高めるための機能
 - ウ 市民との協働・まちづくりを進めるための機能
 - エ 議会運営を進めるための機能

第3回庁舎整備検討委員会 (H25年3月18日)

- (1) 庁舎に求められる機能
- オ 行政事務を効率的に行うための機能
 - カ 高度情報化に対応するための機能
 - キ 環境と共生するための機能
 - ク 庁舎維持管理・セキュリティに必要な機能

◆ ← 【平成25年度】 → ◆

第4回～第7回 庁舎整備検討委員会

- 庁舎の整備規模（必要面積）
 - 庁舎の事業規模（事業費）
- の検討（H25年5月24日）
- 庁舎の整備方法（改修・建替）
 - 庁舎の整備位置
- の検討（H25年7月）

- 整備方法・位置等のモデル評価(4パターン) → 比較項目の設定（評価基準）
 - 整備規模・整備方法・整備位置のまとめ
- H25年 9月
H25年 10月

第8回～第9回 庁舎整備検討委員会

- 庁舎整備基本構想（案）の検討（H25年12月・H26年2月）

庁舎整備ワーキンググループ

～現庁舎の問題・課題から、求められる機能の検討～

現庁舎の問題・課題	求められる機能	
	小項目	大項目
①耐震性の不足による防災拠点機能への不安 ・防災拠点として、耐震性の向上を図る必要がある。 ・大災害を想定した防災拠点機能の強化を図る必要がある ・防災関連施設の集約化を図る必要がある	a 耐震性の確保	ア 防災拠点としての機能
	b 災害対策本部の整備	
	c バックアップ機能の整備	
	d その他機能の整備	
②施設・設備の老朽化による安全性・経済性の低下 ・安心して庁舎を利用できるよう、老朽化対策が必要である。	a 窓口機能の整備	イ 来庁者の利便性を高めるための機能
	b 相談機能の整備	
	c ユニバーサルデザインへの対応	
	d 駐車場・駐輪場の整備	
③狭あい・分散化による市民サービスの低下 ・窓口カウンターや待合スペースが狭い。 ・駐車スペースが狭く台数も少ないため、市民に不便を来している。 ・市民の利便性を高めるため、部局等の配置を見直す必要がある。 ・執務スペースや書類保管スペースが狭い。	e その他機能の整備	ウ 市民との協働・まちづくりを進めるための機能
	a 交流・まちづくり機能の整備	
	b 情報提供・発信機能の整備	
	a 議場の整備	エ 議会運営を進めるための機能
	b 委員会室の整備	
c その他、議会活動のための機能		
④ユニバーサルデザインへの対応の限界 ・ユニバーサルデザインへの対応は困難であり、根本的な解決が必要である。	a 執務空間の整備	オ 行政事務を効率的に行うための機能
	b 会議室等の整備	
	c 書庫及び倉庫の配置	
	d その他機能の整備	
⑤高度情報化への対応の限界 ・今後見込まれるICTの進展など、高度情報化や多様なニーズに対応できない。	a サーバ室、情報管理室の整備	カ 高度情報化に対応するための機能
	b O Aフロアの整備	
	c その他機能の整備	
⑥環境負荷低減への対応の限界 ・施設・設備が古いため、省エネルギー等の推進が困難である。	a 自然採光・自然通風の利用	キ 環境と共生するための機能
	b 再生可能エネルギーの活用	
	c 省エネルギー機器・設備の導入	
	d ライフサイクルコスト低減	
	e 周辺環境等への配慮	
※その他の課題・問題等 ・庁舎の維持管理、セキュリティ管理の不備	a 庁舎の機能維持	ク 庁舎維持管理・セキュリティに必要な機能
	b ライフサイクルコストへの配慮	
	c 個人や行政情報の管理	
	d 夜間・休日のセキュリティ管理	
	e その他機能の整備	